



建築物のライフサイクルアセスメントに係る 環境省の取組

1. LCCO2削減型ZEBへの支援
2. バリューチェーン排出量の算定促進
3. 代替フロン（HFCs）の排出削減

2024年11月11日
環境省地球環境局



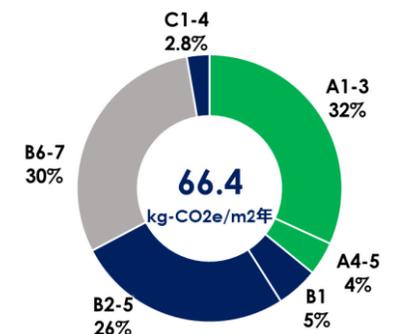
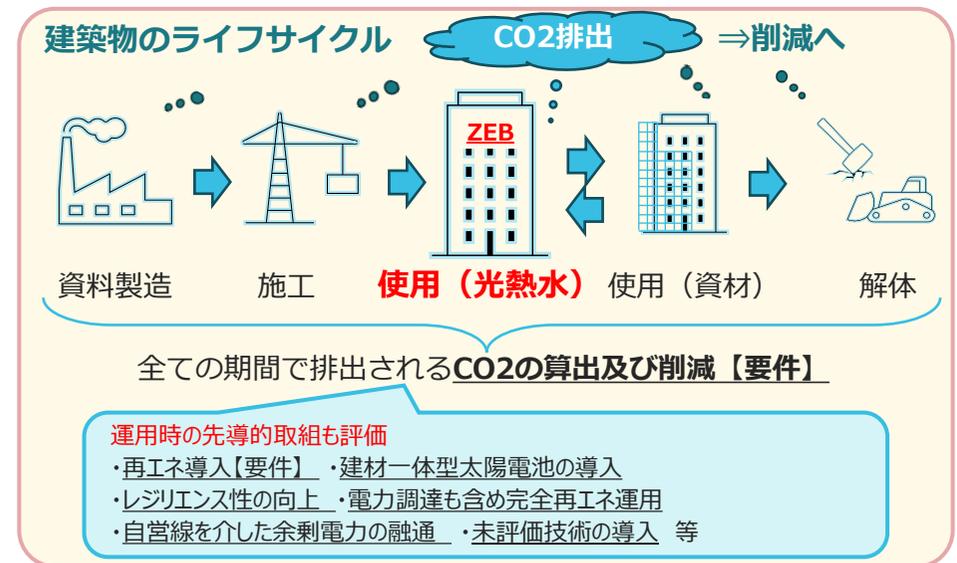
1. LCCO2削減型ZEBへの支援（国土交通省連携事業）

- 新築ZEBに対する補助事業の一環として、令和6年度より開始。使用時のCO2 ※削減に加えて、**LCCO2の算定・削減に取り組む新築ZEBに対し、補助率を上乗せ**して支援。（来年度概算要求にも盛り込み）
- **EPD等の原単位データを用いて算定を行った案件を審査において加点**するなどし、その活用を促進。
- 当事業を通じて得られたデータについては、「**ゼロカーボンビル推進会議**」などで**共有**予定。 ※…CO2の他、HFC等のGHGを含む。

《令和6年度事業採択状況》

- 申請件数：8件（『ZEB』3件、Nearly ZEB 4件、ZEB Ready 1件）
- 申請金額合計：約5億8千万円
- 建物用途：事務所等6件、病院1件、学校1件
- 算定方法：全てJ-CATを用いて算定
- 算定結果（平均）

資材製造段階（A1-A3）	:	20%
施工段階（A4-A5）	:	2%
使用段階（資材関連：B1～B5）	:	35%
使用段階（光熱水関連：B6～B7）	:	42%
解体段階（C1～C4）	:	1%

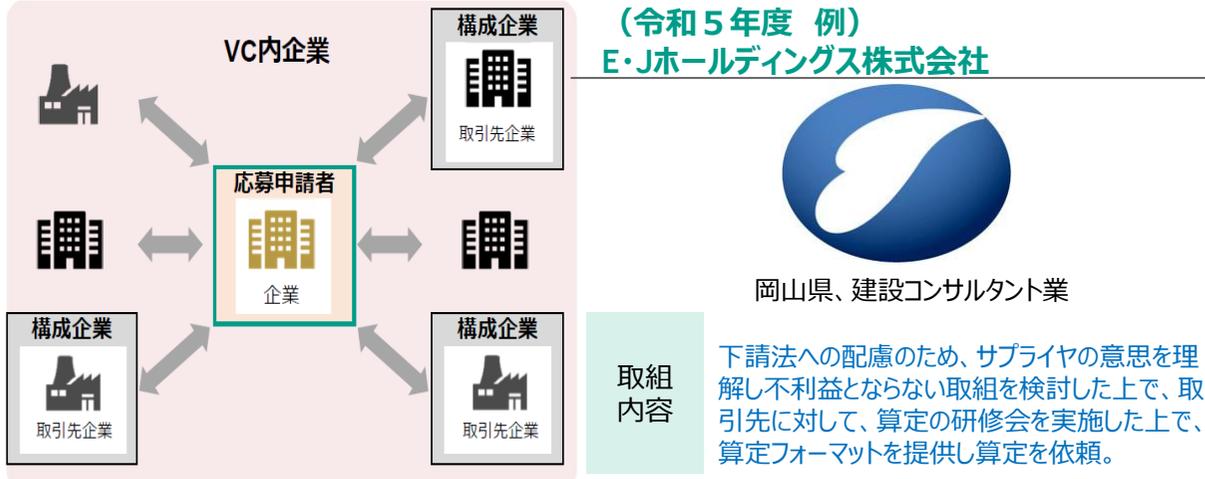


完成予想図・算定結果の例（商工会議所（Nearly ZEB））

2. バリューチェーン排出量の算定促進（サプライヤーエンゲージメント支援）

- 令和5年度より、中小企業を含めたバリューチェーン全体での脱炭素化を進めるため、**サプライヤーエンゲージメントに代表される、取引先企業に対しての働きかけの取組**をモデル事業を通じて支援。また業界におけるScope 3 算定ルールの特通化やバリューチェーン上の企業への依頼方法の統一化などに向けた取組を支援。

企業個社の取組支援



バリューチェーン全体の脱炭素化に向けたエンゲージメント実践ガイド

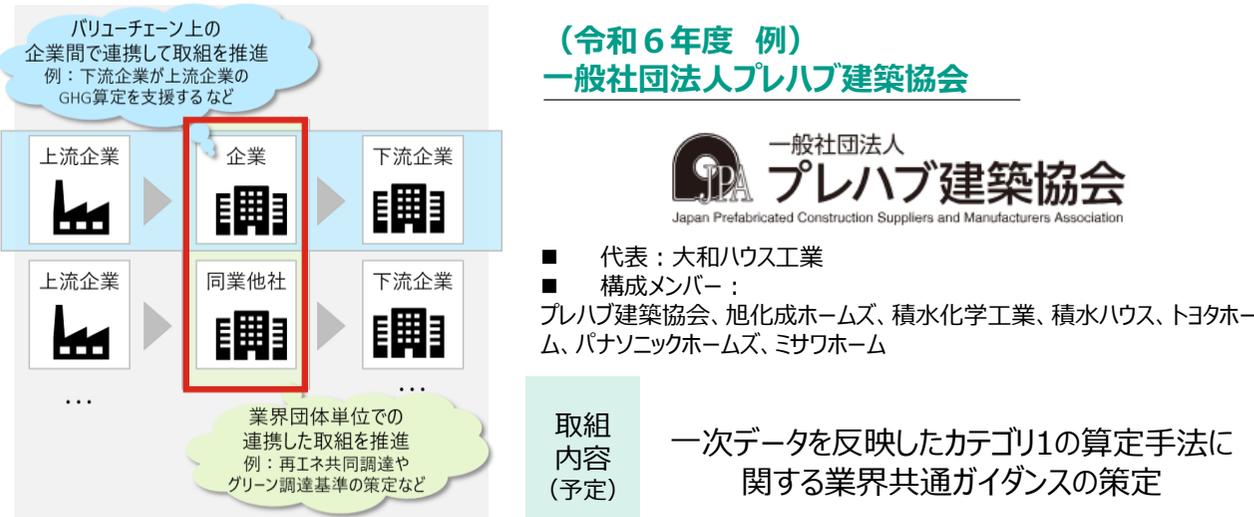


モデル事業結果を踏まえ、取引先企業への働きかけ方法についてとりまとめ。

Scope3のカテゴリ1※の削減のためのサプライヤとの連携に向けて、下請法に抵触しない意識醸成や算定の働きかけなどを紹介

※購入した製品・サービス

業界単位の取組支援



令和6年度 想定する成果

【個社（3件）】サプライヤへのScope1,2,3/CFPの依頼方法、サプライヤの削減施策検討事例の積上げ⇒ガイド反映

【業界・企業群（3件）

業界共通の削減効果試算方法の整備、Scope3カテゴリ1算定や、1次データ取得方法検討手順や論点等の積上げ⇒ガイド反映

2. バリューチェーン排出量算定の促進（情報発信やデータベース提供）

- 情報発信サイト「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」において、算定ガイドや算定に活用できる排出原単位を取りまとめたデータベースや、工業会から自主的に提供されたデータなどを紹介。

※今後 J-CATを掲載予定。

- 環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース」
サプライチェーン排出量の算定に活用できる排出原単位を取りまとめたデータベース
- 環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 電気事業者別排出係数一覧」
国に報告された各電気事業者の電力の排出係数をまとめ、公表したもの

グリーン・バリューチェーンプラットフォーム 各種ガイドの掲載/ヘルプデスク対応



サプライチェーン排出量の算定は、自社から排出量の提供を受ける方法（一次データを利用する方法）と活動量（×）を自社で収集し、算出する排出原単位（×）を受け合わせることでより算定する2種類があります。

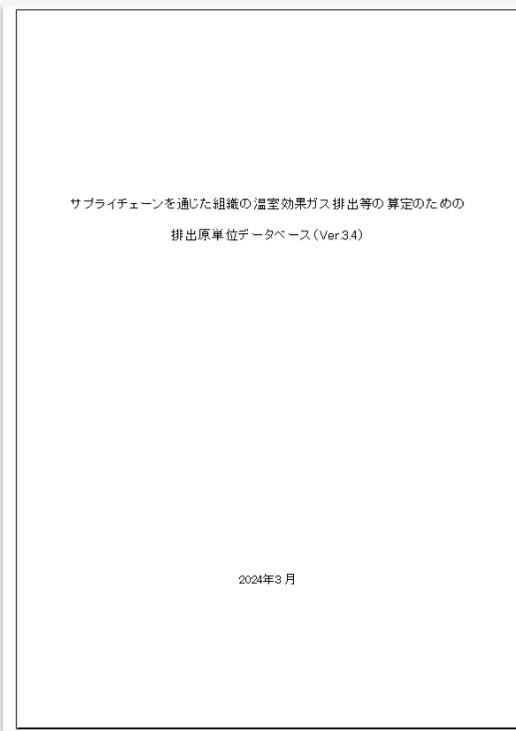
*1：事業所の活動の種類に関する目的。例えば電気の使用量、資材の調達量、運輸手段の移動量等。
*2：活動量およびCO2計算単位のこと。例えば電力量 kWh 使用量あたりのCO2計算単位、運輸活動量トンキロあたりのCO2計算単位、報告時の国産品は自社のCO2計算単位が適用します。

① サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース

グリーン・バリューチェーンプラットフォーム

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/index.html

サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス 排出等の算定のための排出原単位データベース



温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 電気事業者別排出係数一覧



3. 代替フロン（HFCs）の排出削減

- 業務用エアコンの冷媒などに使われているHFCsには、**CO2の数十～1万倍以上**の非常に高い温室効果。
- 温室効果ガスの一つとして、「**ゼロカーボンビル推進会議**」の検討や**J-CAT**において**HFCsも対象**となっている。
- フロン排出抑制法に基づいて機器の管理者が取り組むべき義務（定期点検の実施、使用時漏洩量の報告、機器廃棄時の冷媒回収など）のほか、環境省においては下記の取組を実施。

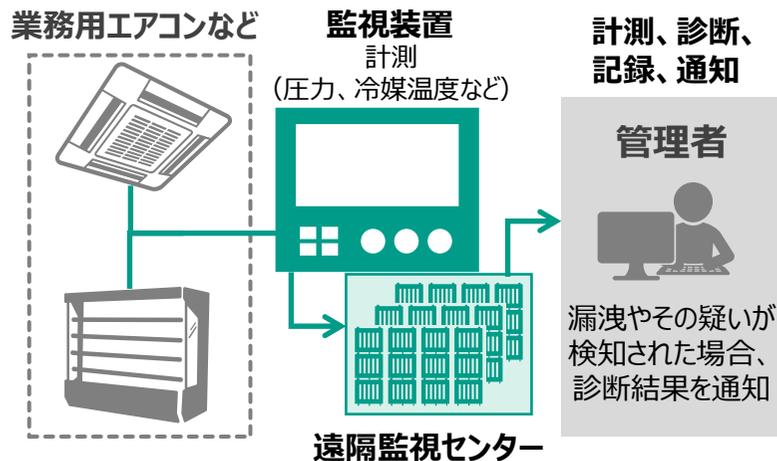
【機器使用時の対策】

- 機器管理者の判断の基準（告示）を改正して、漏洩や故障などを検知する**常時監視システム**を用いている場合には、**3か月に1回以上の目視による簡易点検に代えることを可能とした**（令和4年8月）。

【機器廃棄時の対策】

- **解体工事時の建設リサイクル法の届出様式**について、フロン使用機器の有無の記載欄を追加（令和3年2月）。
- フロン回収作業時の**機器内部への取り残しに係る技術的要因や対策**を取りまとめた、回収業者向けの手引きとして「**ビル用マルチエアコンからの確実なフロン類回収のためのガイドブック**」を公表（令和5年2月）。

常時監視システムによる簡易点検のイメージ



建設リサイクル法の解体工事の届出様式

別表1		(A4) 建築物に係る解体工事	
分別解体等の計画等			
建築物に関する調査の結果	建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容	
フロン（フロン排出抑制法）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 （業務用エアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの） <input type="checkbox"/> 無	フロン類回収済 等 フロンについて、記載欄を追加	